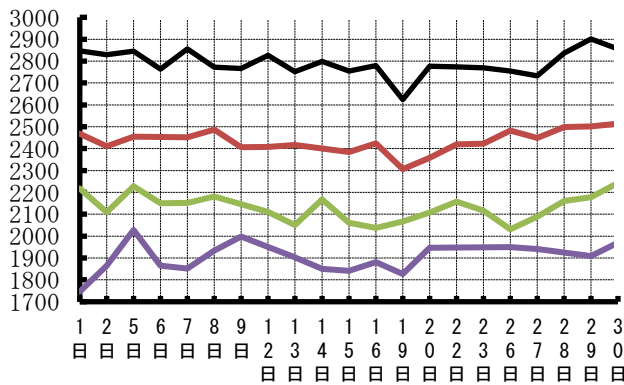


大動物事業部

<3月の相場動向>

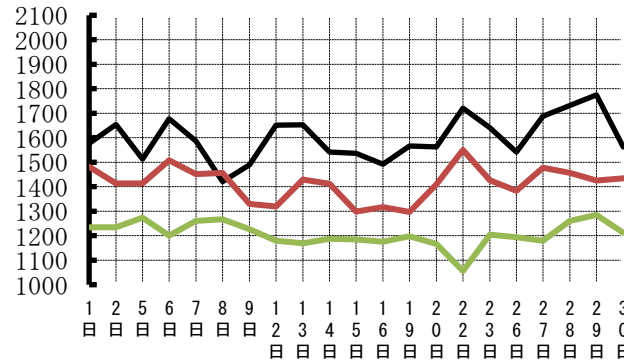
和牛去勢 A5 が前月比 29 円高の 2,795 円（前年同月比 18 円安）、A4 が 26 円高の 2,434 円（同 36 円安）、A3 が 19 円高の 2,131 円（同 58 円安）、A2 が 28 円高の 1,896 円（同 52 円安）となった。交雑牛去勢は B4 が 4 円高の 1,607 円（同 147 円安）、B3 が 7 円安の 1,418 円（同 161 円安）、B2 が 22 円安の 1,209 円（同 147 円安）となり、月初から枝肉相場は軟調な相場スタートしたが、後半にかけては出荷頭数も少ない日が多く続き、また気温上昇とともに末端需要の動きも見られ月末に向かって、和牛・交雑牛とも仕上りの良い枝肉は小じっかりとした相場動向となった。

和牛去勢 日別相場表（3月）



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,795 円	99.4%	101.0%
A4 2,434 円	98.5%	101.1%
A3 2,131 円	97.4%	100.9%
A2 1,896 円	97.3%	101.5%

交雑去勢 日別相場表（3月）



交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,607 円	91.6%	100.2%
B3 1,418 円	89.8%	99.5%
B2 1,209 円	89.2%	98.2%

乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 上場なし		
B2 986 円	105.5%	100.2%

<4月の全国出荷頭数予測>

農水省の食肉流通統計によると 2 月の成牛と畜頭数は前年同月比 0.4%増の 7 万 7,570 頭で、品種別には、和牛が 0.5%増の 3 万 1,530 頭、交雑牛は 6.7%増の 1 万 8,653 頭、乳用種は 3.6%減の 2 万 6,598 頭で、去勢牛については 5.9%減の 1 万 4,264 頭と今後も供給不足が継続する見通し。農畜産業振興機構による 4 月の出荷予測頭数は、前年比 1.0%減の 8 万 8,200 頭と予測している。品種別にみると和牛は 0.7%減の 3 万 8,000 頭、交雑種は 0.1%減の 2 万 900 頭、乳用種は 2.1%減の 2 万 8,000 頭としている。東京食肉市場の 4 月のと畜頭数は 7,500 頭を予定しています。

<4月の牛枝肉相場見通し>

今年の桜の開花は、3 月に入り暖かい日が多くなり全国的に平年より早い開花となった。4 月は年度替わりでもあり、月初に補充買い、行楽需要、月後半には大型連休を控え需要品目も焼き材メニュー中心へと移行が進み活発な荷動きが期待される。和牛は 3・4 等級を中心に上昇基調で推移する見込み。交雑牛は量販店を中心とした引き合いで内容の良い枝肉への引き合いが強くなりつつあった相場展開が見込まれる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,800～2,900	B4	1,600～1,700
A4	2,450～2,550	B3	1,400～1,500
A3	2,200～2,300	B2	1,200～1,300
A2	1,950～2,050		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,150		
B2	950～1,050		

<4月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計によると、2 月の輸入牛肉通関実績は前年同月比 8.4%減の 3 万 7,185t と前年割れとなり、チルドは米国産や豪州産などがけん引して前月から 1,400t 増加の 1 万 9,932t（同 17.8%増）と 2 万 t 近い水準となった。ただ、フローズンは米国産などの輸入量が抑えられた影響もあり、昨対比で 27.1%減の 1 万 7,253 t と大きく減少した。

農畜産業振興機構の予測による 4 月の牛肉輸入数量は、前年比 15.4%増の 5 万 9,400t と予測。チルドは、現地価格高により主に米国産の輸入量の減少が見込まれ、前年同月比 0.4%減と下回るものの、2 万 3,000t 前後で推移すると予測している。また昨年 8 月から関税緊急措置（SG）が発動しているフローズンは、年度明け（SG 明け）となる 4 月は前年同月比 28.2%増の 3 万 6,700 t と予測している。18 年度フローズン牛肉の発動基準数量は 10 万 4,000t 強（協定対象外で 4 万 4,000 t 強）と枠が広がっており、年度明け後の輸入動向が注目される。

輸入牛肉通関量		2月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	8,753	7,110	123.1%
	米国	10,331	9,072	113.9%
	その他	848	741	114.4%
	合計	19,932	16,923	117.8%
フローズン	豪州	11,341	10,424	108.8%
	米国	4,646	10,243	45.4%
	その他	1,266	3,013	42.0%
	合計	17,253	23,680	72.9%

単位：t

出典：食肉速報

小動物事業部

農畜産業振興機構によると 1 月の豚肉需給量は、生産量が 7 万 7,568t（前年同月比 100.4%）、輸入量が 7 万 4,247t（同 98.1%）、総供給量は 15 万 1,815t（同 99.2%）と減少した。

一方、推定出回り量は、国産品 7 万 7,928t（同 101.5%）、輸入品は 6 万 7,918t（同 108.2%）、合計で 14 万 5,846t（同 104.5%）と前年同月を上回った。この結果、推定期末在庫は国産品 1 万 6,549t（同 95.7%）と、輸入品 16 万 209t（同 101.2%）、合計 17 万 6,758t（同 100.6%）となった。

2 月の全国と畜頭数は前年同月比 0.5%減の 130 万 122 頭と前年より減少した。一方、同月の豚肉通関実績は、総量で 6 万 7,947t（99.1%）と前年同月から減少した。チルドは 3 万 228t（同 101.9%）と増加が続いている。内訳は、米国が 1 万 7,650t（同 106.2%）、カナダは 1 万 1,738t（同 96.3%）、メキシコが 837t（同 98.8%）。一方、フローズンは 3 万 7,719t（同 96.9%）で内訳は、デンマークが 7,598t（同 93.0%）、スペインが 7,947t（同 102.3%）、メキシコが 5,732t（同 97.2%）、米国が 3,934t（同 91.9%）、カナダが 2,382t（同 78.8%）となった。

<3月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	62,800	399	391	861
2日	61,200	419	394	802
5日	62,800	423	422	803
6日	65,500	441	412	930
7日	63,300	469	439	720
8日	65,400	458	432	843
9日	63,700	440	415	936

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 3,528 頭、当市場は平均 842 頭であった。

3 月 1 日の相場は 400 円を割り込む想定外の展開となった。3 月は中間流通の決算期があることや、春休みの為学校給食の休止、また気温上昇に伴う鍋物需要の低下など相場の上げ材料は乏しい。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	65,800	418	400	781
13日	66,700	428	405	760
14日	64,900	417	396	750
15日	68,300	402	378	821
16日	65,200	408	389	841
19日	70,600	405	385	657
20日	73,700	437	396	876

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 7,885 頭、当市場は平均 783 頭であった。

全国と畜頭数は週明けの 19 日、20 日は 7 万頭まで増加した。一方、末端需要は鈍い状態が続いている。相場は週明けから大きく下げ、その後も 400 円台前半で推移した。需要が伸びない中、輸入在庫は荷余り感があり、量販店などでも特売されるケースがみられた。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22日	72,900	424	407	801
23日	71,000	439	423	917
26日	66,100	444	418	732
27日	67,200	436	417	930
28日	64,200	424	406	628
29日	66,700	436	387	776
30日	64,400	416	391	882

下旬の全国と畜頭数は平均一日当たり 6 万 7,500 頭と前年を上回ったがこの時期としては多くはなかった。当市場は平均 809 頭であった。

末端消費は鈍い状況が続いている為、相場への影響はなかった。全国的に温暖な気候が続いており行楽需要も高まっている中、焼き材の荷動きは良化し、スペアリブの引き合いも強まってきた。国産相場の安値を受けて量販店などでは国産物の特売を頻繁におこなった。

また、輸入には一部パーツを除いては余剰感がみられ、年度末の買い控えなどもある為に全体的な荷動きは鈍かった。

<4月の豚枝肉相場見通し>

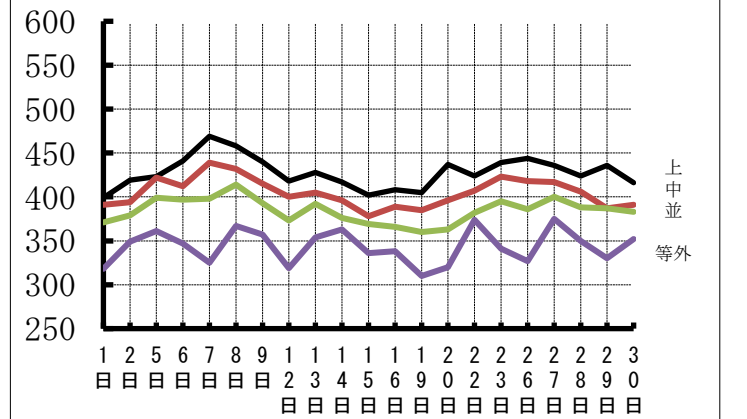
農水省による 4 月の全国と畜頭数予測では、134 万 7,000 頭（前年同月比 102%）、一日当たりの頭数は約 6 万 7,350 頭（20 日稼働）と見込んでいる。当市場の 3 月の集荷予定頭数は 1 万 6,500 頭となっており、一日当たりでは約 825 頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構によると 4 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 6,100t（前年同月比 99%）の予測となっている。内訳はチルドが 3 万 2,500t（同 101.8%）、フローズンは 4 万 3,600t（同 97.1%）の予測である。

4 月は花見、GW の行楽需要なども見込まれる。新学期も始まり学校給食が再開することにより需要の回復が期待できる。

以上のことから当市場の上物平均価格は 480 円前後、中物平均 460 円前後と予測する。

豚 日別相場表（3月）



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>